

まち歩き気分!

え

ん

で

こぼなし  
小話



## 第2回 西大畑地区 どっぺり坂と「異人池」



※掲載している写真は、過去のえんでここで撮影したものです。

日本情緒豊かな街並みが随所に見られる西大畑地区。榎谷小路から日本海側へ真っすぐ抜ける途中に、どっぺり坂=写真①、②=があります。かつて、この坂の上には旧制新潟高校（現在の新潟大学）の学生寮が建っており、坂を降りた先には、古町の繁華街があります。「あまり坂を往来して遊びすぎると、落第するぞ」という戒めの意味

から、ドイツ語のドッペルン（二重にする→留年する）が「どっぺり」となって、この名が付けられました。

当時、どっぺり坂の下には、「異人池」と呼ばれる大きな池がありました。現在は埋め立てられていますが、池の近くにはカトリック新潟教会=写真③=とたくさんのポプラの木があり、その異国情緒漂う景観は多くの市民に親しまれました。



異人池とカトリック教会を描いた絵はがき

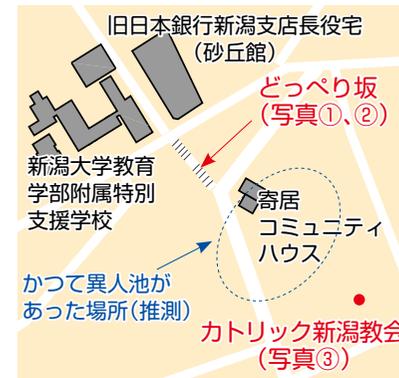
ガイドさんの **ミニ** 解説

新潟シティガイド 本田 富義さん



どっぺり坂の階段は59段。及第点の60点に1つ足りない段数で作られていて、ガイドをするときは参加者の人と数えながら歩いています。また、異人池は実は人工的にできた池で、明治時代にキリスト教が解禁された後、外国から来た牧師たちがここで生活していくために井戸を掘ったところ、地下水が止まらなくなり、そのまま池になったことがはじまりです。魚釣りをする人、珍しい風景を絵画にする人などで賑わっていました。

周辺地図



至 古町